

「うちどく」通信～2025.6～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

提出数(欠席)/人数

1年 11/11 2年 17/17 3年 11/14 4年 18/18
5年 12/12 6年 18(1)/19 全校 87(1)/91



1年 K・F 『はらぺこおむし』 Eか エリック・カール/作 偕成社 読んだ人:ふ F 聞いた人:お姉さん

F:おもしろかったです。

お姉さん:あおむしは色々食べてもまだまだはらぺこだったけど、さなぎになったあと蝶になっていくところがきれいだと思います。

1年 M・Y 『野球しようぜ!おおたにしようへいものがたり』 Eお とりごえこうじ/文

世界ワルダークグループ 読んだ人:Y・お母さん 聞いた人:お母さん

Y:どうぐをたいせつにする。よくたべる。ごみはちゃんとひろう。そしてなげるれんしゅうをしっかりとやっているのがすごかったです。

お母さん:最近本人も野球をはじめ、野球だけではなく色々学ぶ事の大切さを少しずつわかってくれると良いと思います。

2年 O・S 『ころべばいいのに』 Eよ ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社 読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:おかあさんからいっぱいほめてもらっていいなあとおもいました。

お母さん:イヤなことがあっていろいろダメだった日にぜんぜん関係ないことを?といろんなことを試す様子がとっても良かったです。

2年 M・H 『じごくのラーメンや』 Eか かんたすみこ/作 教育画劇 読んだ人:H 聞いた人:おばあちゃん

H:えんまだいおうが、「えんまけん」というラーメンやをつくった。めいぶつの「ちのいけラーメン」をぜんぶべたらてんごくへいけるけど、からすぎてだれもたべられない。おにがそれをたべてたおれたりしておもしろかった。てんごくの人たちが、そのラーメンをすきで、おしゃかさまがちのいけラーメンをたべにきたりしてたのしかった。さいごみんなやさしくなってよかったです。

おばあちゃん:じごくのラーメン屋さんのラーメンはすごく辛そうだけれど、天国の人はそのラーメンがだいすきで、じごくから出前をとっているの、鬼たちが忙しくなったことでじごくが変わりみんなが明るく住みやすくなってよかった。

3年 F・H 『あぶないどーする』 Eあ あさぬまみきこ/ぶん 金の星社 読んだ人:H 聞いた人:お母さん

H:動物は、とげをたてたり、こうらで自分の身体を守ったりする方法が色々あっておもしろかったです。

お母さん:様々な動物の危ない時どうするが知れて面白かったです。

3年 T・H 『土をつくる生きものたち』 46夕 岩崎書店 読んだ人:お母さん 聞いた人:H・妹

H:知らないことが知れてよかったです。

お母さん:昆虫が葉を食べ、その糞が土に変わっていくから森林が成り立っていることを説明があり、本人も勉強になってよかったです。

4年 F・H 『給食番長』 Eよ よしながこうたく /さく 長崎出版 読んだ人:H 聞いた人:お父さん

H:給食の大切さがとてもわかる本でした。きれいなものもがんばって食べないと健康によくないことがわかりました。

お父さん:給食でもお家のご飯でも作ってもらう人の気持ちをしっかり考え思いながら感謝の気持ちをもって食べなくてはいけないなと思いました。

4年 M・M 『ペンギンのたまごにいちゃん』 E あ あきやただし/ぶん 鈴木出版

読んだ人:M 聞いた人:おばあちゃん

M:ペンギンのたまごにいちゃんが、お母さんがねている時もシャチにおそわれている時もいっしょにいるお母さんは大変だと思いました。たまごからでたまごにいちゃんがてっかいのがびっくりしました。

おばあちゃん:ペンギンのたまごにいちゃんはずっとたまごに入っていました、ママが倒れて動けなくなった時、自分で殻を割って自分で一生懸命におぶって行ったのがえらいと思いました。その後もママのお手伝いをする頼りになるおにいちゃんになってよかったです。

5年 T・N 『やっぱり犬がほしい』 913ス スギヤマカナヨ/作 アリス館 読んだ人:N 聞いた人:お母さん

N:男の子が犬を飼うために色々調べて、犬が飼えるようになりとても良かったです。その飼っていた犬が「寝ているうちに静かに旅立った」という文章を読んで、私も犬を飼っているのと一緒にいる時間を増やしていきたいなと思いました。

お母さん:生き物を飼うということは簡単な事ではないので、しっかりと家族と話し合い役割を決めて育てないとお互いに幸せになれないことを改めて考えさせられました。そして必ずお別れがあるため、一緒に過ごす今を大切にしていきたいなと思いました。

5年 I・M 『絵本はたらくさいぼう』 Eし 清水茜/原作 講談社 読んだ人:M 聞いた人:お母さん

M:体のしくみを、かわいく、わかりやすく楽しく知ることができました。これからもっと身体を大切にしようと思いました。

お母さん:映画と同じ話で改めて勉強になりました。身体のしくみがわかりやすく学べる本でとてもおすすめです。

6年 T・A 『ニューモラル心の中のことばをみつめる』 おうちの本 新井洋行/作 くもん出版

読んだ人:A 聞いた人:お母さん

A:自分を否定するのではなく、これからはどんなこともプラスに考えていこうと思いました。

お母さん:丁度、うちどくの宿題を忘れていた娘に「やることやってからじゃないと、タブレット取り上げないといけないなあ」とマイナスな言葉をかけてしまいました。宿題を忘れていたのは仕方ないことで、本人も失敗したなど自分自身の中で悔やんでいるはずで、親はそんな気持ちをしっかり受け止めて、もっと次へつながらるプラスの言葉をかけてあげようと“はっ”とさせられました。

6年 HS 『君色パレット きらいなあの人』 913キ 如月かずさ 読んだ人:S 聞いた人:お母さん

S:自分の苦手な人のせいで、イライラしたり気分が下がったりすることを書いてありました。でも、苦手な人にも助けられることもあるということがわかりました。誰だって誰かに助けられているんだなと思いました。

お母さん:困っている人やできない事は自分がその状況になってみないとわからないし、人の気持ちはわからない。優しい思いやりのある人になってほしいなと思いました。